

労災のない現場誓う

松浦建設 と松栄会 安全大会で決意新た



あいさつする松浦社長

【岩見沢】建設業の松浦建設（松浦淳一社長）と協力会社で構成する松栄会（北市宗三会長）は15日、空知建設会館で「2024年度安全大会を開いた。参加者は、建設現場などの事故防止について講話を聞くなどして理

解を深め、労働災害・交通事故の絶滅に決意を新たにした。

工事現場などが本格稼働する前のこの時期に毎年開いているもので、33社から約90人が参加した。

実施にあたり、あいさつした松浦社長は、「建設業を取り巻く環境はとも厳しい状況だが、安全最優先の原点に立ち返り、関わる

全員が技術を結集して取り組んでいこう」と激励。北市会長も「安全に仕事ができる環境づくりを目指し、全員で同じ方向に向かうことで災害ゼロに近づかず。笑顔で一年間過ごせるようがんばろう」と呼びかけた。

このあと、岩見沢労働基準監督署の小山治彦副署長が、建設業での災害防止に対する考

え方や取り組みなどについて解説。松浦建設の江田禎彦取締役建築部長が安全衛生管理計画を説明したあと、同社の舟橋均建築次長が

「労働災害と交通災害の絶滅こそが念願であり、社会的責務として、災害防止活動を推進する決意を表明した。」

【新田一寛】